

2016年4月25日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

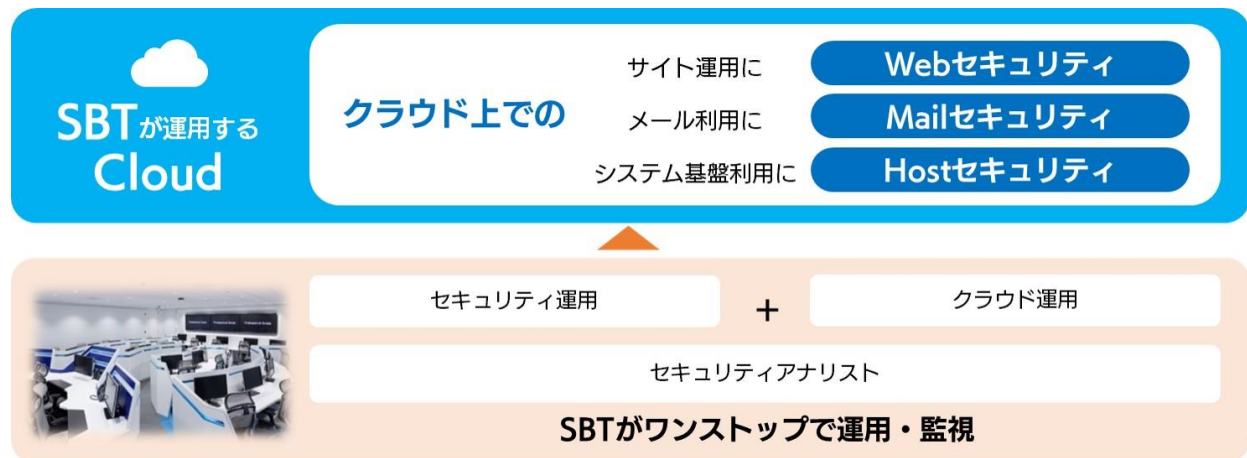
報道関係者 各位

セキュリティ専門家が分析する“マネージド・セキュリティ・サービス”販売決定 クラウド上のウェブサイト、メール、サーバーを監視し、サイバーセキュリティの脅威に備える！

POINT

- 日々巧妙化するサイバー攻撃に対して、セキュリティ知識が必要
- さらにセキュリティ対策の整備には、運用負荷がかかる
- SBT の専門家によるセキュリティサービスをワンストップで提供予定

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、クラウドにおけるセキュリティ対策を支援するマネージド・セキュリティ・サービス（以下 MSS）の販売を決定したことをお知らせします。なお、MSS 提供開始は、2016年6月を予定しています。



セキュリティもクラウドも、専門家がサポート ～サービスの概要～

近年、企業や組織・団体を狙った標的型攻撃をはじめとするサイバー攻撃が頻発しており、その手法も巧妙化・複雑化してきました。サイバーセキュリティの脅威を未然に防ぐため、お客様が独自にセキュリティサービスを導入・運用する場合、24時間365日の監視体制の整備や、収集されたセキュリティログの脅威レベルの判断など、一定の人員と知識が必要となります。昨今、サイバーセキュリティ人材不足と育成強化が必要と言われている中、企業が、個別にクラウドサービスに精通したサイバーセキュリティ人材を確保することは容易ではありません。

さらに、企業のクラウド活用が浸透し、ウェブサイトやメール等様々な業務システムをクラウドで構築し、そのシステムに応じたセキュリティソリューションもクラウドで導入するケースが増加しています。セキュリティソリューションごとに、監視体制を整備したり、セキュリティに関する専門知識を習得したり、運用負荷やコストが高くなることも課題です。

SBTはこれらの課題を解決するため、お客様が利用するセキュリティソリューションを、お客様に代わってワンストップで運用・監視するMSSの販売を決定しました。

SBTのMSSは、Microsoft Azureなどのクラウドサービスを利用するお客様に対して、従来SBTが提供してきたSIEM運用サービスなどの「セキュリティ運用」に、クラウドの運用、監視等を行う「クラウド運用」を連携・融合したサービスです。

また、サイバーセキュリティの専門家であるセキュリティアナリストが24時間365日常駐し、運用・監視を実施しています。セキュリティアナリストは高度な分析技術と経験で、日々蓄積される膨大なセキュリティログの危険度や影響範囲の程度を判別、必要な措置を提案・サポートすることで、お客様の安心・安全なクラウドサービスの利用を支援いたします。

MSSの主なメニューは以下を予定しております。

- Webセキュリティ：ウェブサイトのシステム監視、セキュリティ監視、チューニング、レポート、ヘルプデスク等
- Mailセキュリティ：メールシステム監視、セキュリティ監視、チューニング、レポート、ヘルプデスク等
- Hostセキュリティ：サーバーの侵入検知防御、高度なファイアウォール、不正プログラム対策、セキュリティログ監視等

SBTは今後も、クラウド、セキュリティ、データアナリティクスの融合で、お客様に付加価値の高いサービスを提供してまいります。

※本リリースに記載されている会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

「情報革命で人々を幸せに ～技術の力で、未来をつくる～」という理念のもと、大きく成長することを目標に掲げ、“クラウド”“セキュリティ”“デジタルマーケティング”の3分野に注力しています。M&Aや従業員の拡大を推進し、3年前と比較して従業員は2倍の800名を超え、SBTグループは国内7社体制まで拡大しました。コーポレートスローガン「One! SBT」のもと、SBTグループが一丸となり、今後も付加価値の高いICTサービスの提供を通じて、お客様のビジネスに貢献してまいります。



報道関係者様向け お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 管理本部 経営企画部 齊藤、安部、菅

TEL : 03-6892-3063

Email : sbt-pr@tech.softbank.co.jp



本ドキュメントでは、フォントワークス株式会社のフォント[UD角ゴ ラージ Pro]を使用しています。